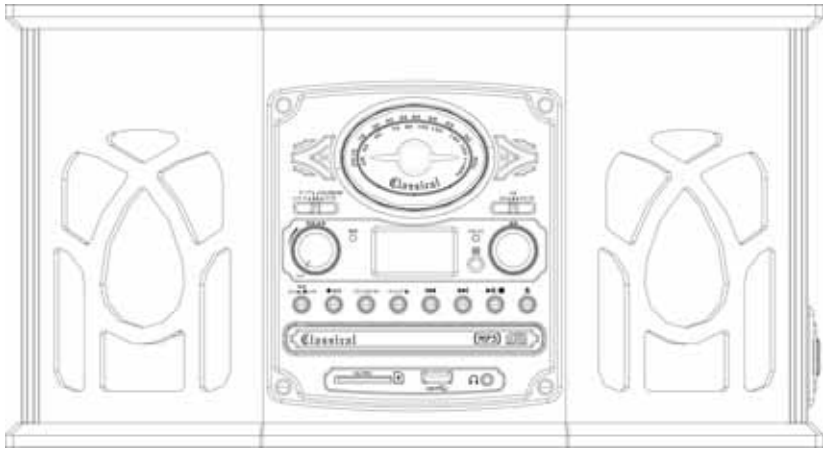
品番：TCD-99E

Classical

オーディオプレーヤー

レコード（LP/EP）/CD
CD-R（MP3/WMA）
FM/AM/ カセットテープ /USB/SD

取扱説明書



このたびは、弊社製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みになり、ご理解されたうえで
正しくお使いください。取扱説明書は大切に保管してください。

MADE IN CHINA

もくじ

■安全にお使いいただくために ……3

■各部名称 ……6

■接続 ……7

■ラジオを聴く ……7

■CD の再生
・CD を入れる ……8
・再生 / 一時停止 / 停止
・スキップ
・MP3 ディスク
・ID3（タイトル情報）機能 ……9
・曲 タイトル / フォルダー名検索
・リピート / イントロ / ランダム
・プログラム再生

■USB メモリー /SD/MMC の曲を再生 ……10

■テープを聴く ……11

■レコードレコード ……12

■外部接続 ……12

■CD/ レコード / カセットを MP3 に録音する
・CD から録音 ……13
・レコードから録音 ……14
・カセットから録音
・USB から SD へ（または逆）ファイルをコピー ……15
・エンコードビットレート
・トラック分割

■USB/SD のファイル削除 ……16

■低音音響効果 ……16

■リモコン操作 ……17

■商品仕様 ……18

安全にお使いいただくために

ここに提示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の 2 つに区分しています。いづれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
●傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
●物的傷害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

⚠ 警告

分解禁止

ご自身で修理・分解しないでください。

感電注意

感電の恐れがあるので、絶対に機器を分解しないでください。

製品ラベルに表示されている規定電力でご使用ください。

機器を水に濡らさないでください。

プラグを抜く

使用しないときは、コンセントからプラグを抜いてください。

濡れ手禁止

濡れた手でプラグを扱わないでください。

⚠ 注意

設置

●安定した平面に置いてご使用ください。
●本体の上に物を載せないでください。上に乗らないでください。
●水場の近くや湿気の多い場所、油煙や湯気があたる場所、埃の多い場所に置かないでください。
例えば、風呂場や洗濯機、キッチンシンクの側、プールサイドや床が濡れた場所など
●ストーブ等の発熱する器具の側に置かないでください。また、火気や直射日光、異常な高温になる場所を避けてください。
●設置の際は、製品背面の放熱を妨げないように注意して設置してください。

●取扱説明書に記載されていない方法や目的でのご使用あるいは、用途以外の目的でのご使用は事故やけがの原因となりますので、絶対におやめください。
●お客様の不注意による破損やけがに対する責任は負いかねますので予めご了承ください。
●万が一、故障していたり故障と思われる場合はご使用にならないでください。
●取扱説明書の使用ガイドライン、指示が守られない場合は責任を負いかねます。
●お子様の近くで使用しないでください。

⚠ 注意

電気製品使用上の注意

●コンセントにつなぐ前に、製品の電力とご家庭で使用の電力があっていることをお確かめください。
●コンセントや配線器具の定格を超える使用や、定格電力以外での使用を禁じます。
（たこ足配線などで定格電力を超えると、発熱による火災の原因となることがあります。）
●電源コード、プラグは丁寧にお取り扱いください。以下の扱いをしないでください。
・傷つける・加工する・熱器具の側に配線する・無理に曲げる・ねじる・引っ張る
・重い物をのせる・束ねる　など
※コードが傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因となることがありますので、直ちに使用をやめて専門業者に修理を依頼してください。
●プラグを抜くときはコードを引っ張らず、プラグをお持ちください。
●感電の恐れがありますので、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
●製品に水をこぼさないでください。
●製品の機器内に異物や水を入れないでください。
機器内には高電圧が流れています。感電、ショート、火災の原因となる恐れがあります。
●雷が鳴ったら、アンテナや機器、プラグに触れないでください。落雷、感電の恐れがあります。
●屋外で使用しないでください。

お手入れ・点検・サービスについて

●お手入れ前に、電源を切り必ずコンセントからプラグを抜いてください。
●乾いた柔らかい布で本体を拭いてください。水に濡らさないでください。ベンジン、シンナー、アルコールや化学洗浄剤は使用しないでください。

●コンセントにつないだまま機器を持ち運ばないでください。
●以下の異常が起こった場合は、直ちに使用をやめて電源を切り、最寄りの販売店にご相談ください。
a. 電源コードやプラグが破損している
b. 本体に水をこぼしてしまった。機器内に異物が入ってしまった
c. 機器に雨水がかかった
d. 取扱説明書の操作に従ったが、正常に動作しない時
e. 製品を落としてしまった。または破損してしまった。
修理は専門業者に依頼し、ご自身で機器本体のカバーを開けないでください。

●製品に使用されている部品以外のパーツを使用しないでください。
●部品交換や定期点検は専門業者に依頼してください。

設置について

以下の場所をさけて設置してください。

1. 直射日光が当たる場所
2. 熱源の側
3. 揺れや振動がある場所
4. 寒冷所、湿気の多い場所

長期間使用しないときは、コンセントからプラグを抜いて保管してください。
取扱説明書は、後の使用のためにもお手元に保管してください。

●全ての部品を梱包から取り出してください。また、保護材を取り除いてください。
●電源の電圧を確認してください。また、電源以外の接続が終わるまで電源ケーブルは接続しないでください。
●通気口をふさがないでください。
また、換気のため本体の周りに数センチのスペースを確保してください。

CD ディスクのお取り扱いについて

ディスク破損や、機器の不調の原因になりますので以下の使用方法をお守りください。
・鉛筆やボールペンなどでディスク表面に地を書かない。
・紙やシール、ラベルをディスク表面に貼らない
・ラベルが剥がれたり、シールがはみ出しているディスクを本機で再生しない
・指紋などの汚れは音質に影響するので、ディスク取扱い時は縁と中心を持ち、表面を持たない
・汚れたときは、水を含ませた柔らかい布で中心から縁へやさしく拭き、あとから乾拭きする
・レコードクリーナー、シンナー、ベンジン、アルコールでお手入れしない
・ディスク保管時はケースに入れて保管する
・保管時は、火気の側、異常な高温所、湿気、直射日光の当たる場所を避ける

レコードのお取り扱いについて

消耗品は定期的に交換する。または交換サイクルを早めることでレコードの盤面に余計な負担をかけず品質を保つことができます。以下の点にご注意ください。
・針が汚れていたり磨耗したまま使用すると、再生時のノイズやひずみ、レコードの摩耗を早める原因となります。
・レコードの表面にほこりが付いているとノイズの原因となります。ほこりは静電気によって付着しますので、静電気やほこりを除去するレコード、クリーナーの使用をおすすめします。

結露はディスクや機器を傷めます

以下の、結露の発生しやすい状況を避けてください。

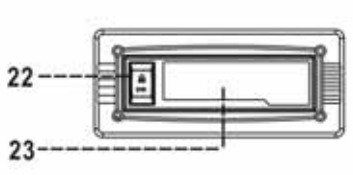
・機器を寒い場所から急に温かい場所に移動させた時
・暖房機の運転を始めたばかりの室内、またはエアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
・夏期の冷房が効いた室内で急激に温度が上昇した時
・湯気が立ちこめる室内、湿気の多い場所で使用した時

結露が起きそうな時は、機器をすぐに使用しないで、温度差がなくなるまで時間をおいてください。

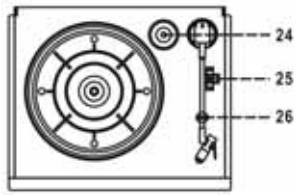
各部名称

1. ラジオチューニング表示
2. LCD ディスプレイ
3. 機能切替スイッチ
4. 電源 LED 表示
5. 電源 ON/OFF、音量 UP/DOWN ダイヤル
6. MP3 フォルダー UP ボタン
7. CD/USB/SD ボタン
8. エクストラバス ON/OFF ボタン
9. 録音●ボタン
10. CD トレイ
11. SD/MMC カード スロット
12. ラジオバンド選択スイッチ
13. FM STEREO LED 表示
14. チューニング ダイヤル
15. リモートセンサー
16. SKIP/SEARCH DOWN ⏮ ボタン
17. SKIP/SEARCH UP ⏭ボタン
18. CD トレイ OPEN ボタン
19. 再生 / 一時停止 / 停止 ⏯ / ⏹ ボタン
20. USB ソケット
21. 3.5mm ヘッドフォンジャック

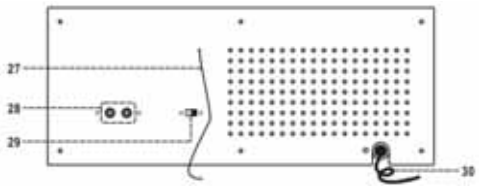
22. テープ FORWARD / EJECT ボタン
23. カセット ドア カバー



24. スピンドル アダプター
25. 33/45 回転スピード選択
26. ピックアップアーム

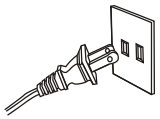


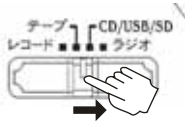
27. FM ワイヤー アンテナ
28. 外部出力 ソケット (L/R)
29. 自動停止スイッチ
30. 電源コード



接続

1. 電源コード（No.30）をコンセントに接続してください。
2. 電源（No.5）を入れてください。
   LCD ディスプレイ（No.2）が青く光ります。
3. 機能切替スイッチ（No.3）を「ラジオ」にします。
   スピーカーから音が聞こえてくれば正常です。
   音楽を楽しむ準備は完了です。

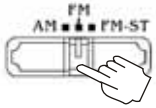




ラジオを聴く

手動でのチューニング

1. 希望するバンド をラジオ バンド 選択（No.12）で選択します。
（AM 、FM 又は FM-STEREO）

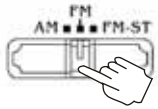


2. チューニングダイヤル（No.14）を回し、希望する放送 チャンネルに合わせます。

3. 音量ダイヤル（No.5）で 希望の音量レベルに調整します。

FM & FM-STEREO 受信

●ラジオ バンド 選択（No.12）を「FM」の位置にし、モノラルモードで受信します。ステレオの電波が弱い時はモノラルで受信する方が好まいしいです。



●ラジオ バンド 選択（No.12）を「FM-ST」の位置にし、ステレオモードで受信します。FM-STEREO LED 表示（No.13）が 点灯し FM ステレオ放送を受信している事を表します。

最良の受信のために

AM :
本製品はビルトイン AM バーアンテナを内蔵しています。AM 受信感度が弱い場合はわずかに回転するか、または、位置を変えて感度の向上をしてください。

FM :
本製品は FM ワイヤーアンテナ（No.27）を背面に備えています。最良の受信をするためにこのワイヤーを解いて広げてください。

CD の再生

■CD を入れる

1. 機能選択スイッチ（No.3）で「CD/USB/SD」モードを選択します。

2. ▲ ボタン（No.18）を押して CD トレイ（No.10）を開けてください。

3. CD の印刷面が上にくるようにトレイに置き CD トレイを閉めてください。

4. LCD ディスプレイ（No.2）に総トラック数と総演奏時間が表示されます。

■再生 / 一時停止 / 停止 ▶II / ■

1.「▶II /■」ボタン（No.19）を押すと先頭のトラックが再生されます

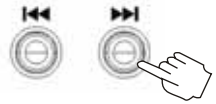
2. もう一度「▶II /■」ボタン（No.19）を押すと , 再生が停止し LCD ディスプレイ（No.2）再生時間が点滅表示されます。
もう一度押すと続きを通常再生します。

3. 再生中に「▶II /■」ボタン（No.19）を 2 秒以上押し続けると停止します。

■スキップ ▶▶I / I◀◀

1. 再生又は一時停止モードで ▶▶I ボタン（No.16）を押すと次のトラックに移動し LCD ディスプレイ（No.2）にトラックNoが表示され、再生又は一時停止します。

2. 再生又は一時停止モードで I◀◀ ボタン（No.17）を押すと前のトラックの先頭に移動し LCD ディスプレイ（No.2）にトラック NO. が表示され、再生又は一時停止します。



3. CD/MP3 再生中に ▶▶I/I◀◀ ボタン（No.16/17）を押し続けると、ボタンを離すまで前後に早くトラックを移動します。

■MP3 ディスク

1.「フォルダ▲」ボタン（No.6）、押すとフォルダー NO. が増加します。

2. ▶▶I/I◀◀ ボタン（No.16/17）を押すとトラック NO. が変わります。

3. 希望するトラックまで移動したら、「▶II /■」ボタン（No.19）を押すと再生を開始します。

■ID3（タイトル情報）機能 ※リモコン使用

1. MP3/WMA ディスク再生中に「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押すと、その曲のタイトルが表示されます。再度「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押すと表示が消えます。

■曲 タイトル / フォルダー 名検索機能

※リモコン使用

停止中にタイトルやフォルダー名からトラックの検索ができます。

1.「検索」ボタンを 1 度押し、▶▶|/|◀◀ ボタン（No.16/17）を押すと、アルファベット順に LCD ディスプレイ（No.2）に 1 曲づつタイトルが表示され検索ができます。聴きたい曲が表示された時に「 ▶|| / ■」ボタン（No.19）を押すと選択したトラックの再生を開始します。

2. 再度「検索」ボタンを押すと、フォルダー名が表示されます。その時に ▶▶|/|◀◀ ボタン（No.16/17）を押すと、希望するフォルダーが選択できます。その時に「 ▶|| / ■」ボタン（No.19）を押すと選択したフォルダーにある全曲を再生します。

注意

・トラック名がついていない場合は、「 NONE」又は「UNKNOWN 」と LCD ディスプレイ（No.2）に表示されます。
・本製品は英語アルファベット及び ID3 テキストの数字のみサポートします。

MP3/WMA トラックをフォーマットするには

・MP3 ビットレート：32KBPS ～ 256KBPS
・WMA ビットレート：32KBPS ～ 320KBPS

●MP3 ディスク再生性能は録音時の状態や方法に依存します。また、CD より長い MP3-CD リードタイムは形式の違いによるものです。

■リピート / イントロ / ランダム

※リモコン使用

再生前や再生中に「リピート / イントロ / ランダム」ボタンを押すと、1 トラック、1 フォルダー（MP3 FILE のみ）、全トラックの順に再生モードを変更します。

【CD】

①1 曲リピート
↓
②全曲リピート
↓
③イントロ
↓
④ランダム
↓
⑤リピート OFF

再生モード	LCD ディスプレイ表示
1 曲リピート	
全曲リピート	ALL
イントロ	INTRO
ランダム	RANDOM
リピート OFF	- - - -

【MP3 ディスク】

①1 曲リピート
↓
②1 フォルダーリピート
↓
③全トラックリピート
↓
④イントロ
↓
⑤ランダム
↓
⑥リピート OFF

再生モード	LCD ディスプレイ表示
1 曲リピート	
全トラックリピート	ALL
全フォルダーリピート	FOLDER
イントロ	INTRO
ランダム	RANDOM
リピート OFF	- - - -

●リピート再生

聴きたいトラックやフォルダーを繰り返し聴くことができます。

●イントロ再生

曲の先頭（10 秒）を再生し検索時間を短縮できます。

●ランダム再生

全トラックやフォルダーをランダムに再生します。

■CD/MP3 ディスク プログラム再生

※リモコン使用

停止している時に CD や MP3 のファイルを 32 曲までプログラムができます。

1.「CD/USB/SD」モードで CD/MP3 ディスクの再生を停止します。

2.「プログラム」ボタンを押し LCD ディスプレイ（No.2）に「 PROG 」と表示されるのを確認します。また、プログラムするためにプログラム NO. とトラック NO. が表示されます。

3. ▶▶|/|◀◀ ボタン（No.16/17）でプログラムしたいトラック NO. を選択します。

4.「プログラム」ボタンを押してメモリに保存します。

5. 必要であれば 3 ・ 4 の操作を繰り返しメモリに追加保存します。

6. プログラムしたい全てのトラックをプログラムしたら「 ▶|| / ■」ボタン（No.19）を押して再生を開始します。

7. プログラムされたファイルを取り消すには、リモコンで「 PROG 」表示が LCD ディスプレイ（No.2）に見えなくなるまで「■」ボタンを押します。

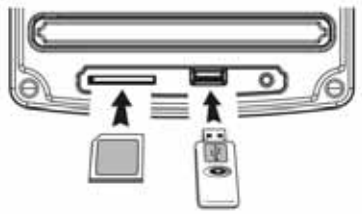
USB メモリー /SD/MMC の曲を再生

■接続

本製品は USB ポートのメディア又は SD/MMC メモリー カードにあるメモリー上に保存された全ての MP3 /WMA ファイルの読み込みと再生ができます。

1. 機能選択スイッチ（No.3）を「CD/USB/SD」モードにセットし、「CD/USB/SD」ボタン（No.7）で「USB」又は「カード」を選択します。

2. USB メモリーを完全に差し込むか、又は、メモリーカードを正しくメモリーカードスロットに挿入します。



3. USB メモリーや SD/MMC カードを正しく装着しないと、本製品や記憶媒体を破損する恐れがあります。
（USB メモリー / SD/MMC カード）装着・挿入前に方向をよく確認して、装着・挿入してください。

4. 本製品は各メディアを接続すると自動的に読み込みを始めます。検出後には LCD ディスプレイ（No.2）に MP3/WMA 総ファイル数と総フォルダー数を表示します。

5. CD/MP3 ディスクを演奏するのと同じ再生手順で再生してください。
（ページ＃＃参照）

注意

・本製品は USB ソケット又は SD/MMC カード上の MP3 及び WMA フォーマットのみを検出、読み込みいたします。

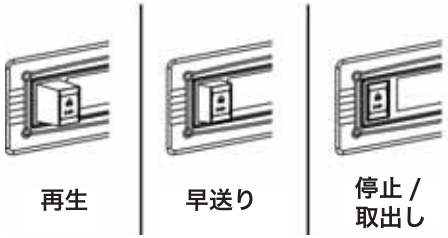
・MP3 プレーヤーを USB を介して接続すると MP3 フォーマットの変化のため再生できないことがあります。

・USB ポートは直接コンピュータと接続するようには設計されておりません。

テープを聴く

■通常の操作

カセット再生：
カセットテープ挿入後に自動的に再生します。



停止と取り出し：
「EJECT ボタン」をしっかり押しカセットドアカバーからカセットテープを取り出します。
「EJECT ボタン」は一番低い位置になります。

早送り：
再生中に「EJECT ボタン」を中間まで押しテープを早送りします。「EJECT ボタン」は中間の高さのままです。

「EJECT ボタン」をわずかに押すと再び再生します。「EJECT ボタン」は一番高い位置になります。

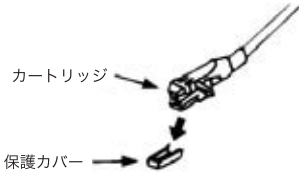
注意

・本製品にテープを挿入する時はテープの方向を確認してください。
・早送り時には通常の再生時より大きいノイズがします。
・テープを聴き終わった時は、本製品よりカセットテープを取り出してください。
また、再生しない時は必ず本製品にカセットテープを入れたままにしないでください。

レコードプレーヤー

注意

・針の保護カバーを取り除いて下さい。



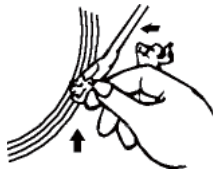
・動作前にアームがアームレストに固定されていない事を確認し、アームレストにアームが置かれている事を確認してください。

1. 機能選択スイッチ（No.3）を「レコード」にセットしてください。

2. 33/45 回転スピード選択（No.25）を適切なスピードに合わせてレコードを再生します。

3. レコードをターンテーブルにのせます。
（必要に応じてスピンドルアダプター（No.24）を使ってください）

4. アーム（No.26）を持ち上げレコードのそばに近づけます。ターンテーブルが回転し始めます。



5. アーム（No.26）をレコード上の希望の位置に移動させます。

6. 音量を希望の音量（No.5）にします。

7. レコードの最後までアームが移動するとターンテーブルは自動的に停止します。アームをレコード上より持ち上げアームレストに戻します。

8. 手動で停止するには、レコード上からアーム（No.26）を持ち上げアームレストに戻します。

注意

場合により本製品の自動停止設定以外の規格のレコードがあります。その場合はレコードの最後まで行かずにその前で停止する場合があります。
この場合、本体背面にある自動停止スイッチ（No.29）を OFF の位置にしてください。
その場合はレコードの最後まで行きますが、自動的に停止しません。
（電源ボタンを切るか自動停止スイッチ（No.29）を ON に戻すとターンテーブルの回転は停止します）その後、アーム（No.26）をアームレストに戻してください。

外部接続

外部出力ソケット（No.28）に RCA ケーブル（付属していません）を使い他の機器の外部入力端子に接続することができます。

CD / レコード / カセットを MP3 に録音する

CD、レコード、カセットを MP3 フォーマットで USB メモリーや SD/MMC カードのメモリーメディア録音することができます。

CD から録音する

①１曲だけ録音する

1. USB メモリーまたは SD/MMC カードを差し込む。
（空き容量があることを確認してください。）

2. 録音したい CD トラックを再生します。

3. 希望する曲の再生中に録音「●」ボタン（No.9）を押します。

4.「 USB 」と「 REC 」の表示が LCD ディスプレイ（No.2）に表示されます。

5. エンコードが終了したら、自動的に再生を停止します。

＊エンコードとは…
情報を一定の規則に従ってデータに置き換えて記録すること。また、ある形式のデータを一定の規則に基づいて別の形式のデータに変換すること。

②CD をまるごと録音

1. プリント面が上に来るように CD をトレイに置き CD ドアを閉じます。

2. ディスク検索が終了したら、録音「●」ボタン（No.9）を押します。

3.「 ▶II / ■ 」ボタン（No.19）を押した後に録音「●」ボタンを押さないでください。その場合は選択した曲のみ録音されます。

4. エンコード中は「 USB 」と「 REC 」の表示が LCD ディスプレイ（No.2）に表示されます。

5. エンコードが終了したら、自動的に再生を停止します。

③プログラム録音

1. プリント面が上に来るように CD をトレイに置き CD ドアを閉じます。

2.「CD/MP3 ディスクプログラム再生」（ページ 10）の手順に従い、録音したい曲を選択し「 ▶II / ■ 」ボタン（No.19）を押して再生をします。

3. 録音「●」ボタンを押し「 USB 」と「 REC 」を点滅させプログラムのエンコードをします。

4. エンコードが終了したら、自動的に再生を停止します。

注意

- CD/ レコードプレーヤー / テープのエンコードはメモリ媒体（USB メモリーまたは SD/MMC カード）のどちらの 1 つを挿入します。
- 録音速度は 1:1 でレコードやテープの時間により変わります。
- コピーは MP3/WMA ファイルのみ可能です。
- 本製品は「AUDIO」フォルダーのエンコードファイルと「 FCOPY 」ファイルのみ作成できます。
- 録音時の初期設定は
  MP3 ビットレート：128 KBPS
  サンプリングレート：44.1KHZ です。

- エンコード時は曲のタイトルは記録されません。
- 録音の割り込みをする時は、録音時に再度録音「●」ボタンを押します。

- レコードやテープのエンコード中に USB と SD スロットの両方にメディアがある場合は、第一に USB メディアに保存されます。

- CD を MP3 ファイルへ、又は、USB/SD から MP3 ファイルを USB か SD/MMC カードに録音やエンコードする時は、全曲録音のみ可能です。

④MP3/WMA ファイルのコピー

録音「●」ボタン（No.9）を押すと CD の代わりに MP3/WMA ディスクから USB か SD/MMC カードにファイルをコピーできます。操作手順はＣＤの録音をする時と同様です。MP3/WMA ファイルを読み始めるとコピーモードに切り替わります。

注意

- 本製品は USB と SD スロットの両方にファイルがある場合、初めに USB ファイルを記録媒体にコピーします。.
- もし USB 又は SD 音源を再生中に録音「●」ボタン（No.9）を押すと USB から SD 又は SD から USB にコピーされます。

レコードから録音する

1. 録音をするためには USB メモリーまたは SD/MMC カードを差し込みます。
（空き容量を確認してください。）

2. 機能切替スイッチ（No.3）を「レコード」の位置にし録音「●」ボタン（No.9）を押してください。

3. LCD ディスプレイ（No.2）に「USB」の文字が点滅表示された後「 USB 」と「 REC 」が点灯表示し、エンコードモードに変わります。

4. レコードの録音したい曲を再生します。
録音中は「 REC 」が点滅表示します。

5. 録音終了時に、録音「●」ボタン（No.9）を LCD ディスプレイ（No.2）が点滅が止まり「レコード」モードに戻るまで押します。

注意
本製品の性質上、レーコードからの録音の場合、１曲目の曲始めの数秒が録音準備の為録音されません。
下記操作をすることによって曲初めから確実に録音する事ができます。
4 の操作後、曲が始まり、LCD ディスプレイ（No.2）の「 REC 」が点灯から点滅表示に切り替わり録音を始めたら、アームを曲の始めに戻してください。
録音が終了した後、曲の始めに入ってしまった不要な部分はパソコンの編集ソフト等で削除してください。

カセットから録音する

1. 録音をするためには USB メモリーまたは SD/MMC カードを差し込みます。
（空き容量を確認してください。）

2. 機能切替スイッチ（No.3）を「テープ」の位置にし録音「●」ボタン（No.9）を押してください。

3. LCD ディスプレイ（No.2）に「USB」の文字が点滅表示された後「 USB 」と「 REC 」が点灯表示し、エンコードモードに変わります。

4. テープの録音したい曲を再生します。

5. 録音終了時に、録音「●」ボタン（No.9）を LCD ディスプレイ（No.2）が点滅が止まり「テープ」モードに戻るまで押します。

USB から SD へ（または逆の）ファイルをコピー

録音「●」ボタン（No.9）を押すことにより USB ソースを SD/MMC カードにコピーできます。

①1 曲のみコピー

(SD カードから USB へコピーする場合)

1. SD/MMC カードのコピーしたい曲を再生します。
2. 希望する曲の再生中「 ⇐ 」と「 REC 」が点滅している間に録音「●」ボタン（No.9）を押すとコピーを開始します。
3. コピーが終了したら、自動的に再生を停止します。

②全曲コピー

(SD カードから USB へコピーする場合)

1.「 SD」モードを選択し、コピーしたい SD/MMC カードを挿入します。

2. 完全にカード情報を読み込んだ後、録音「●」ボタン（No.9）を押すと、「 ⇐ 」と「 REC 」が点滅しコピーを開始します。
3. コピーが終了したら、自動的に再生を停止します。

エンコードビットレート ※リモコン使用

エンコード中にビットレートを選択できます。より高いビットレート（伝送速度）は、より良い品質の音を発生させますが、より多くのメモリを必要とします。
選択可能な範囲は
32 / 64 /96 /128 / 192 / 256
キロビット毎秒です。

1. 停止している状態で機能切替スイッチ（No.3）で「レコード」を選択します。

2. リモコンの「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押すと LCD ディスプレイ（No.2）に標準ビットレートを表示します。（128 KBPS）
3. ▶▶|/|◀◀ ボタン（No.16/17）を押して、希望するビットレートを選択します。
4. 設定を確認し再度「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押すと、LCD ディスプレイ（No.2）は「レコード」と表示されます。

トラック分割 ※リモコン使用

レコードやテープから USB/SD にエンコード中に録音する曲を分割することができます。
レコードやテープを USB/SD に録音した場合、何もしなければ 1 つのファイルとして保存されます。録音中にリモコンの「 TS 」(トラックセパレート) ボタンを 1 度押すと曲を分割し録音を継続します。その時 LCD ディスプレイ（No.2）には「 PHONO」または「TAPE」が点滅表示されます。これは新しいトラックで録音されている事を意味します。

USB / SD カード のファイル削除 ※リモコン使用

本製品は USB メモリーや SD/MMC カードに保存されたファイルを削除できます。

1 ファイル削除

1.「USB」または「SD」を選択します。

2. 3 秒間「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押したままにすると、LCD ディスプレイ（No.2）に「DEL ---001」が表示されます。
3. ▶▶|/|◀◀ ボタンを押し削除したいファイルを選択します。
4. 録音「●」ボタンを押し「YES / NO」表示にし ▶▶|/|◀◀ ボタンで「 YES」または「NO」を選択します。
5. 再度録音「●」ボタンを押しセットを完了します。

全ファイル削除

1.「USB」または「SD」を選択します。

2. 3 秒間「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押したままにすると、LCD ディスプレイ（No.2）に「DEL ---001」が表示されます。
3. 再度「曲情報表示 / 録音設定」ボタンを押すと、LCD ディスプレイに（No.2）「FORMAT / Y/N」と点滅表示します。▶▶|/|◀◀ ボタンで「 Y（YES)」または「N（NO)」を選択します。
4. 再度、録音「●」ボタンを押しセットを完了します。

注意

・「Y (YES)」を選択すると、USB メモリーまたは SD カード内の全てのファイルは削除されます。
・一度リモコンの停止「■」ボタンを押すと削除を中止します。

USB / MEMORY カードの取り出し

USB かメモリカードを取り外すには、機能モードを USB/SD 以外の CD、テープ、ラジオに変えてください。
その後、直接引き抜いてください。

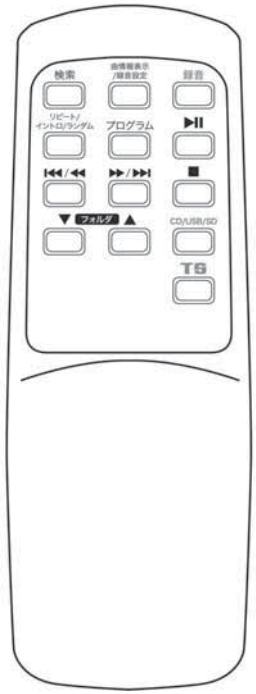
低音 音響効果

低音ボタン（No.8）を押すと、低音機能が働きます。
ボタンは「 ON ▁▔ 」の位置にまります。

リモコン操作

電池の取り付け

赤外線通信のために単三電池 2 本を使用しています。（電池は付属していません。）



ボタン説明

検　索	MP3/WMA 再生時に押すと現在のファイル名 / フォルダー名を検索します。
曲情報表示 / 録音設定	MP3 再生時に押す：ID3 機能をアクティブにします。 レコード再生時に押す：エンコードビットレートの選択をします。
録　音	エンコードまたは録音します。
リピート / イントロ / ランダム	SD/USB の時に押すとリピート / イントロ / ランダム機能をアクティブにします。
プログラム	SD/USB 時に押すとプログラム機能をアクティブにします。
再生 / 一時停止 ▶‖	SD/USB 時 , 1 度押す再生し、もう 1 度押すと 1 時停止します。
▶▶ / ▶▶|	1 度押すと次のトラックへ移動し , 長押しすると後方検索をします。
|◀◀ / ◀◀	1 度押すと前のトラックへ移動し , 長押しすると前方検索をします。
停　止 ■	SD/USB 時に押すと再生を停止するかまたはプログラムの保存をキャンセルします。
フォルダ▲/▼	SD/USB 時に押すとフォルダーの UP または DOWN を選択します。
CD/USB/SD	CD、SD、USB を選択します。
TS	エンコード中に押すと、レコードかテープのトラックをひとつずつ分割録音します。

商品仕様

製品サイズ	406×336×220mm
重量	7.6kg
定格電圧	100V 50/60Hz
消費電力	18W
再生可能メディア	CD、CD-R、USB、SD/MMC、カセットテープ、LP、EP
録音形式	MP3
録音速度	1 倍速
出力端子	アナログ（RCA）×1
スピーカー部	
出力	2W+2W
インピーダンス	4Ω
CD 部	
周波数特性	60～20,000Hz（±3dB）
S/N 比	50dB
カセット部	
S/N 比	45dB
周波数特性	125Hz（±4dB）
レコードプレーヤー部	
ドライブ方式	ベルトドライブ
回転速度	33 回転、45 回転
チューナー部	
FM 周波数範囲	76～90MHz
AM 周波数範囲	540～1600KHz
材質	MDF、ABS 樹脂、高耐衝撃ポリスチレン
付属品	リモコン（単 3 電池 ×2 本使用：別売）、取扱説明書